

# 地域実践研究成果の紹介

## インクルーシブ教育システムの構築に向けた 校内研修の実施と地域への発信

### 特徴

災害等の影響のある地域では、家庭環境の安定しない場所もあり、子供たちへの支援の在り方を模索している状況となります。そのような地域において、学校・地域・行政がチームとなり、未来を担う子供たちを支えるため、共生社会の実現に向けた特別支援教育に関する理解啓発を行った取り組みです。

### 活用していただきたい方

- ・ 行政・関係機関
- ・ 学校の管理職および教職員

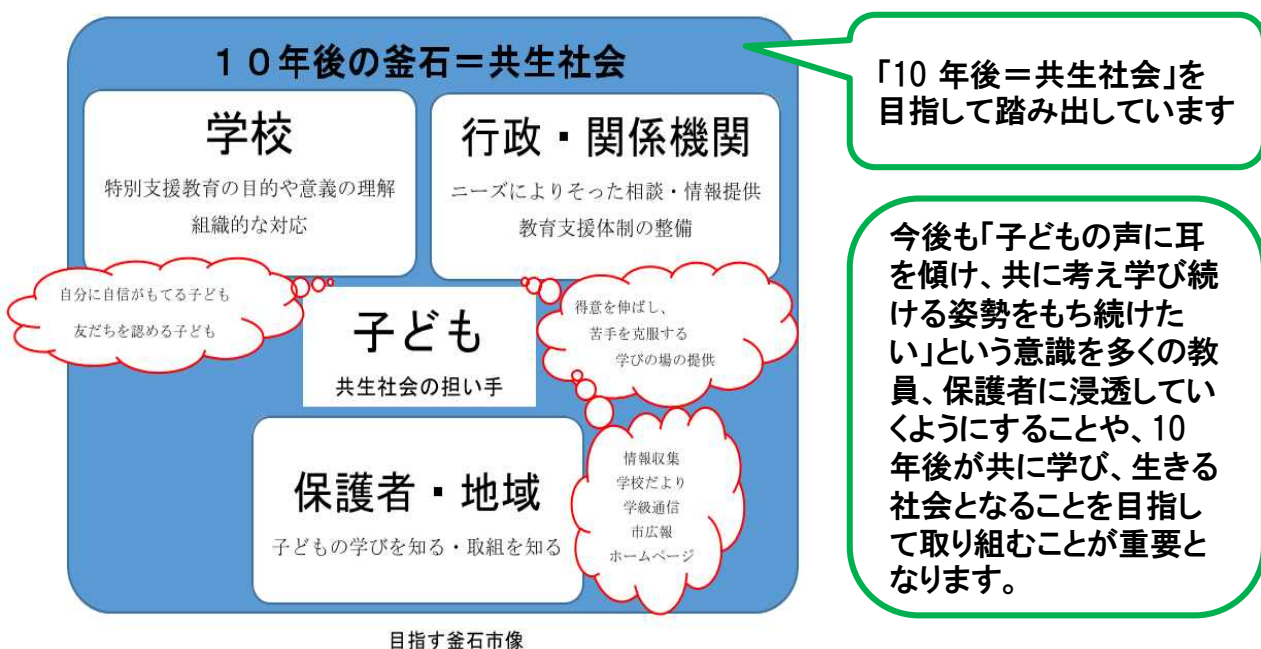
### 研究成果の活用

#### ○教職員の特別支援教育に対する理解を深める

教職員への特別支援教育に関する調査及び講演会等を行うことで、子どもの「困難さ」に気づくことや特別支援教育の重要性について確認し、小中学校の校内研修にて「特別支援教育の視点」を深めています。

#### ○保護者や地域住民へ特別支援教育で大切にしたい考え方を発信

講演会に保護者や地域住民が参加することで、教育の現状と今後の方向性を考えています。広報によりインクルーシブ教育システムの説明と校内研修の様子を伝え、就学支援説明会等にて理解啓発を図っています。



## 研究の内容と主な成果

### 地域の課題

釜石市は、東日本大震災津波から8年が経過しましたが、地域の課題としては、主に次の4点が挙げられます。

- ・ 震災を受けて心のサポートが必要な子ども、家庭、地域がある。
- ・ 環境の変化を受けて、総合的に支援が必要な幼児児童生徒が多い。
- ・ 小・中学校の通常の学級に、特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する。
- ・ 保護者や地域住民に対し、教育支援について丁寧に説明する必要がある。

### 実施内容

学校・地域・行政がチームとなり、未来を担う子どもたちを支え、インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育に関する理解啓発のために、学校や地域にて以下のような取組を行いました。

- ・ 教職員の意識や理解の状況についての現状把握(アンケート調査の実施)
- ・ 市の教育研究所研究発表大会の実施
- ・ (学校管理職、教職員、保護者、行政関係者の参加への呼びかけ)
- ・ 教育支援担当者説明会、特別支援教育支援員研修会の充実
- ・ 小中学校における校内研修会の実施
- ・ 市の広報及びウェブサイトによる情報提供
- ・ 保護者を対象とした就学支援説明会での説明
- ・ 教育支援体制の整備

## インクルーシブ教育システム構築との関連性

7. 研修：(7-1)園内・校内研修における研修の実施  
：(7-3)校外研修を活用した理解・専門性の向上

\*インクルーシブ教育システム構築の観点は、国立特別支援教育総合研究所横断的研究「我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究」で検討したインクルCOMPASSの観点を規準にしています。

詳しい内容  
は報告書を  
ご覧下さい

**地域実践研究 インクルーシブ教育システムの  
理解啓発に関する研究 研究成果報告書**  
(平成30年度～令和元年度)

P.97～106

[https://www.nise.go.jp/nc/report\\_material/research\\_results\\_publications/specialized\\_research/b-337](https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/specialized_research/b-337)